

カレンダー

令和4年

1月元旦～3日	……	新年祈祷法要
2月12日	……	松岩寺開山喜庵西堂和尚每歳忌（開山和尚滅後四二四年）
15日	……	涅槃会
3月	……	春彼岸法要
4月 8日	……	釈尊降誕絵（花まつり）
6月下旬	……	本山妙心寺新亡供養
8月1日～3日	……	施餓鬼受付
13日……盆迎え	15日……施餓鬼法要	16日……盆送り
9月 秋彼岸	……	秋彼岸法要
12月 8日	……	成道会

○定例行事・催し物の紹介○

【坐禅会】 毎週日曜日 朝6時～7時

【写経】 第4土曜

午後1時30分～4時30分まで（8月は盆行事のため休会）

教養講座

もったいないをかたちに【開催中】

【金つぎ教室】 講師 花輪滋實

第4土曜日 午後1時半～午後4時半



思いをかたちに【休会中】

【仏像を彫る会】 講師 高野竜生

第2・4日曜日 午後1時～午後4時

健康は声から【休会中】

【声をだして元気になる】（ボイストレーニング）

月に一度不定期に開催 講師 林 航

霊園管理費納付のお願いは、春彼岸のご案内と一緒にお届けします

例年、この欄では年中行事や寺主催の旅行へのお誘いをしているのですが今年はちょっと……。そこで、境内の北、旧中山道に面したところにある、伝道掲示板の令和4年正月に掲載するものを紹介します。



伝道掲示板には1ヶ月にひとつの言葉を紹介しています。経典の引用であったり、詩や小説のなかの言葉であったりします。道ばたの1メートル四方の掲示板ではお伝えできない、ことばの周辺は松岩寺ホームページのblogに掲載しています。



ふじの山 夢に見るこそ 果報（かほう）なれ
路銀（ろぎん）もいらす
草臥（くたびれ）もせず

油煙齋永田貞柳（ゆえんさいながたていりゅう）

正月のことばを何にしようか。ずいぶん迷いました。時季に応じた、言葉がすんなりと出てこないのは、不勉強と言われれば、その通りなのですが、正月は難しい。だから、過去の記録をみると、縁起が良さそうで、新らたなる誓いのような短歌や俳句が多くなってしまふ。

そうではなくて何かないと探していたら、半日がすぎてしまう始末。そこで、エイッとばかりに、本棚の隅でホコリをかぶっていた、大岡信著『第三折々のうた』（岩波新書）をあけて、見つけたのが標題の狂歌です。

朝日新聞朝刊第一面に、1979年から2007年まで、詩人の大岡信（1931～2017）さんの、6762回続いた連載が「折々のうた」。そのなかの、昭和58年正月のコラムと思われるのですが、正確な月日は不明。200字ほどの名人芸を、そのまま引用するのは新年早々エチケット違反でしょうか。ご容赦を。

〈『貞柳翁狂歌全集』所収。江戸を中心に栄えた天明狂歌の出現以前、元禄期の大坂で頭角を現し、天下の狂歌壇に名声をほしいままにした狂歌師。代々の菓子老舗の生まれだが、父も俳人で狂歌を作り・叔父にも俳人がいた。弟は浄瑠璃作者の紀海音。これは「初夢」と題する狂歌。めでたい初夢は一富士・二鷹・三なすびとよくいわれる。さて、初夢で富士山を見るのはまったく果報な話だ、旅費もいらぬし、第一くたびれもしない〉